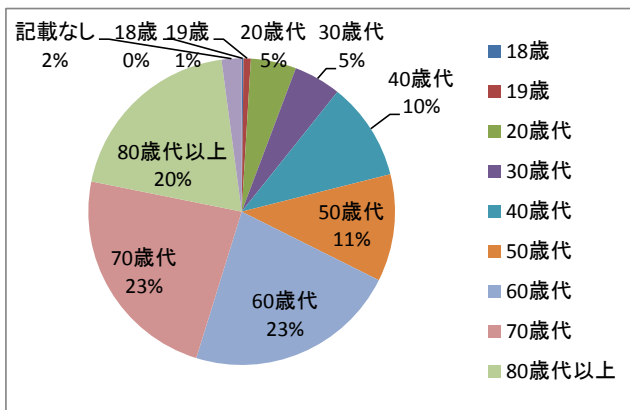


選挙期日当日の投票時間短縮に関するアンケート調査結果(全体)

調査期間 令和2年9月11日～9月30日  
 対象者 9月定時登録の選挙人名簿登録者20,803人から800人を無作為に抽出  
 回答者 522名

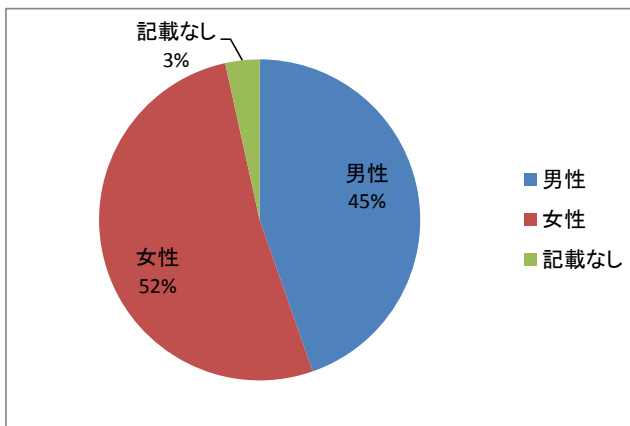
令和2年9月1日時点の年齢

年代	人数	割合
18歳	1	0%
19歳	4	1%
20歳代	25	5%
30歳代	26	5%
40歳代	54	10%
50歳代	59	11%
60歳代	117	22%
70歳代	122	23%
80歳代以上	103	20%
記載なし	11	2%
合計	522	



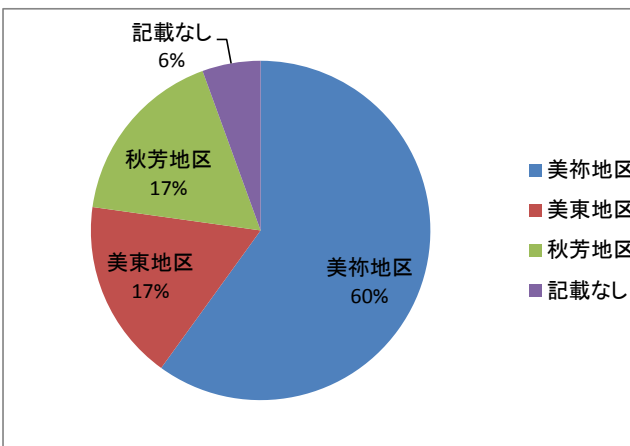
性別

性別	人数	割合
男性	233	45%
女性	271	52%
記載なし	18	3%
合計	522	



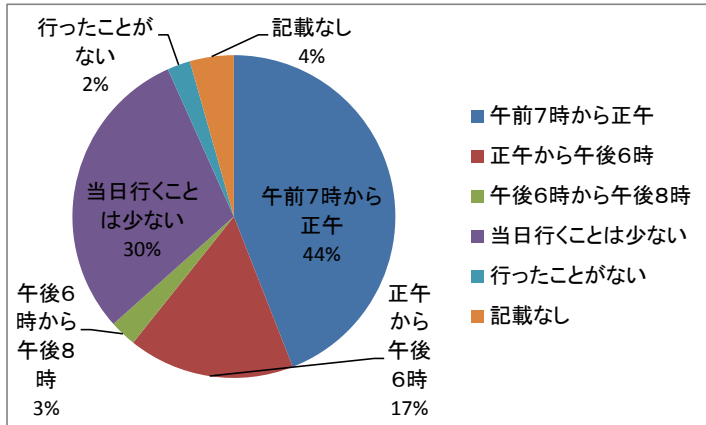
住所

地区	人数	割合
美祢地区	313	60%
美東地区	90	17%
秋芳地区	90	17%
記載なし	29	6%
合計	522	



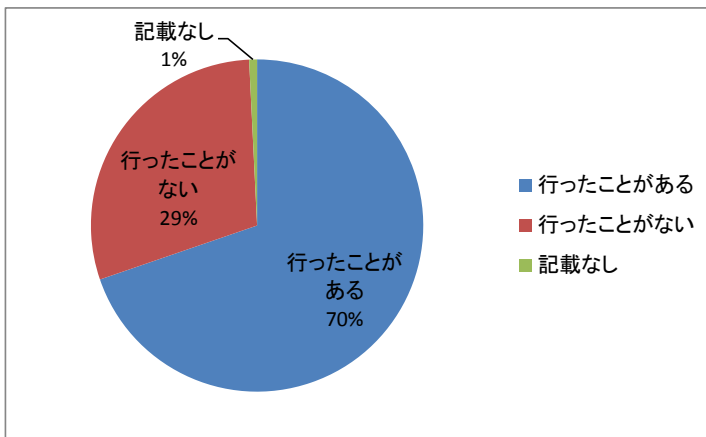
【問1】あなたは、選挙当日どの時間帯で投票所へ投票へ行くことが多いですか

問	件数	割合
午前7時から正午	230	44%
正午から午後6時	87	17%
午後6時から午後8時	14	3%
当日行くことは少ない	156	30%
行ったことがない	12	2%
記載なし	23	4%
合計	522	



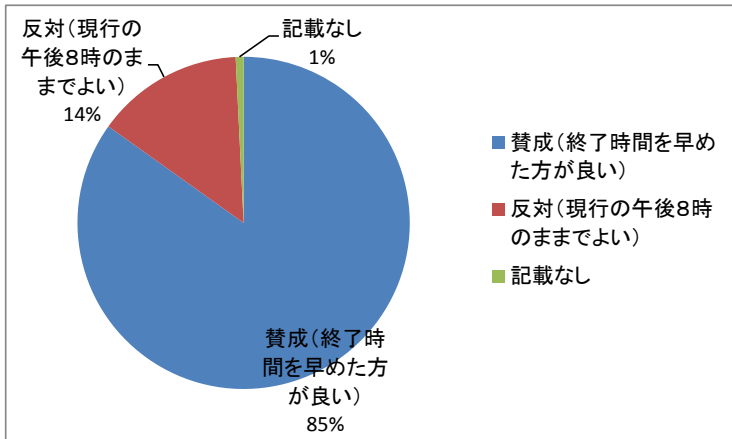
【問2】あなたは、これまでに期日前投票に行ったことはありますか

問	件数	割合
行ったことがある	364	70%
行ったことがない	154	30%
記載なし	4	1%
合計	522	



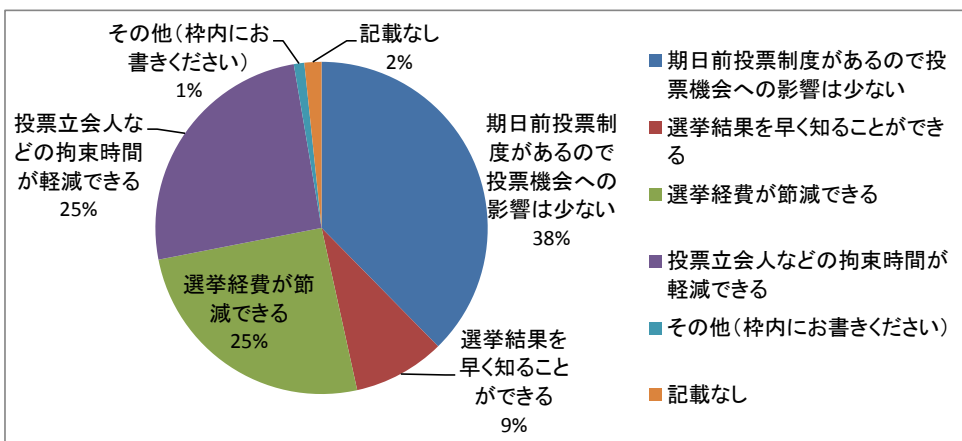
**【問3】 現在、選挙当日の投票時間の終了時刻は午後8時となっていますが、当日の終了時刻を早めることについてどう思いますか**

問	件数	割合
賛成（終了時間を早めた方がよい）	443	85%
反対（現行の午後8時のままでよい）	75	14%
記載なし	4	1%
合計	522	



**【問4】 【問3】で「1 賛成」と回答した方にお聞きします  
(1) 投票時間の終了時刻の繰り上げに賛成する理由は何ですか（2つまで選択可）**

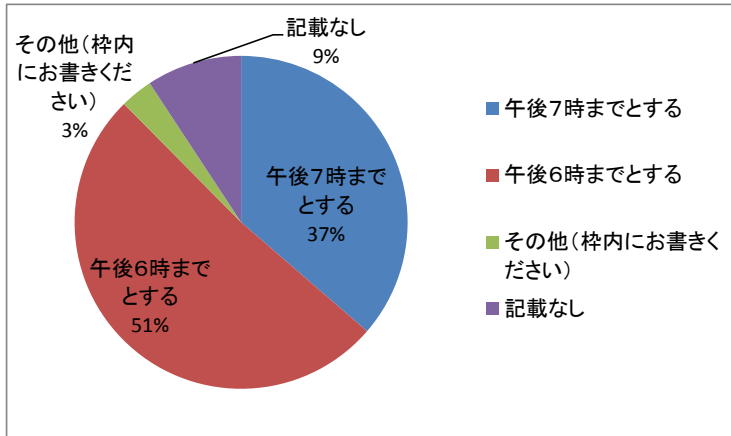
問	件数	割合
期日前投票制度があるので投票機会への影響は少ない	295	38%
選挙結果を早く知ることができる	70	9%
選挙経費が節減できる	199	25%
投票立会人などの拘束時間が軽減できる	199	25%
その他（枠内にお書きください）	8	1%
記載なし	13	2%
合計	784	



その他の内容  
 子どもが小さいので夜間外出することが少ない  
 8時までする必要がない  
 ある程度の繰り上げなら問題が無い  
 投票に行く人は行く！！  
 経費という税金の無駄使いがなくなる  
 選挙に行く人は行くと思う  
 期日前投票の経費が無駄 午後5時  
 時間を早めても遅らせても行かない人は行かない  
 山間部で冬季期間悪天候になるかもしれないので繰り上げ賛成

## (2) あなたは、終了時間の時間は何時が適当と思いますか

問	件数	割合
午後7時までとする	161	36%
午後6時までとする	227	51%
その他(枠内にお書きください)	14	3%
記載なし	41	9%
合計	443	



### その他の内容

午後5時

もっと早くてもよい

8時～16時

期日前投票の経費が無駄 午後5時

17時でも大丈夫だと思う

午後5時

午後5時までが良い

期日前投票の願いをPRし当日は短縮し7時30分でも良い

6時か6時30分

昼ごろまででよい

冬は6時、夏は7時

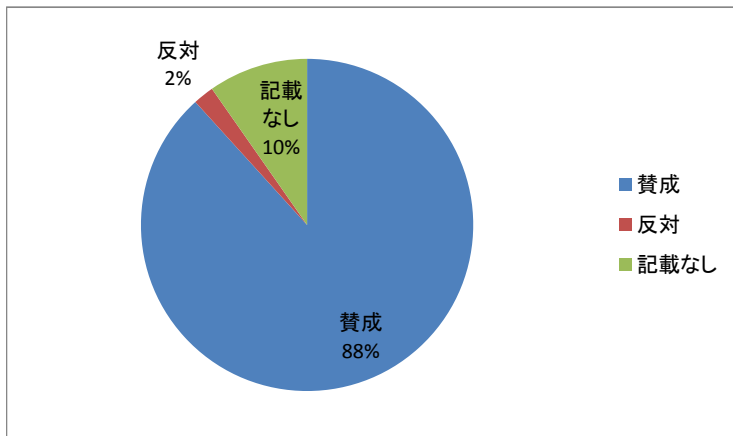
午後5時まで

まずは30分早め、その投票率により段階的には短縮していくのが妥当

期日前投票が開始されて、当日投票された時間帯の現状が分からないため断言できない。

(3) あなたは、当日の投票時間を一斉に（すべての投票所において）早めることについてどう思いますか

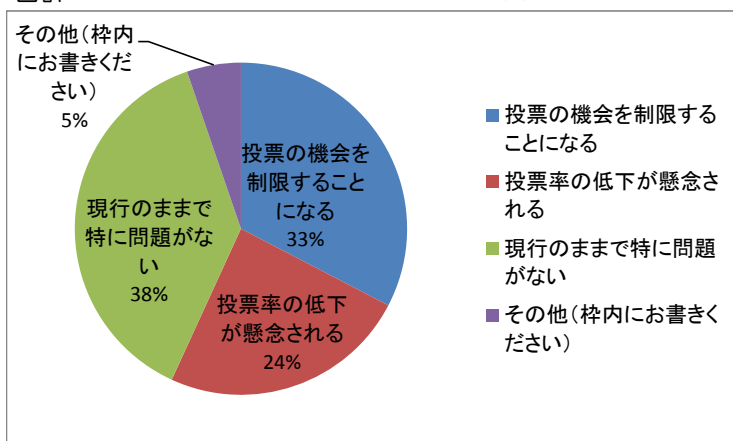
問	件数	割合
賛成	391	88%
反対	9	2%
記載なし	43	10%
合計	443	



【問5】【問3】で「2 反対」と回答した方にお聞きします。

(1) 投票時間の終了時刻を早めることに反対する理由はなんですか（2つまで選択可）

問	件数	割合
投票の機会を制限することになる	31	33%
投票率の低下が懸念される	23	24%
現行のままで特に問題がない	36	38%
その他（枠内にお書きください）	5	5%
合計	95	



その他の内容

仕事とかで、当日行きたい人がいる。

午後6時から8時からの投票割合が2%だからという考え方に賛成できない2%の有権者が投票できる代案をコロナ対策を兼ねて人の分散のため短縮必要なし

休日に仕事の人がいるので